

# 鉄道安全報告書

平成 22年度版



平成 23 年 9 月  
のと鉄道株式会社

平成23年9月

## 安全報告書

のと鉄道株式会社

### 1. 経営責任者からのメッセージ

当社の鉄道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解に厚く感謝申し上げます。平成22年度は列車運行に支障を及ぼす鉄道運転事故及び社員の取扱い誤りによる事故はございませんでした。

鉄道の安全については、全社員一丸となって事故防止意識を高め、輸送の安全・安心を最優先に進めてまいりました。

特に、社員の取扱い誤りをなくすため、事故となる前の事象、事故の芽(ヒヤリハット)を作業者間で共有し、お互いに注意し合い、芽を摘んでまいりました。

また、設備面では車両、線路、踏切等の検査・保守を確実に実施、設備故障の防止を図ってまいりました。

今後も、社員の技術・知識やメンタル面での教育・訓練を実施するとともに、責任体制を明確にし、安全・安定輸送の強化を更に図っていく所存でございます。

この安全報告書は鉄道事業法に基づき、安全確保の取組みや安全の実態について公表するものです。この報告書に対する貴重なご意見を頂ければ幸いに存じます。

### 2. 安全の基本方針と安全目標

#### (1) 安全の基本方針

安全・安心な輸送を最優先させるため、社長をはじめ全社員の安全に係る行動の拠りどころとして「安全行動規範」に定め、周知しています。

#### 安全行動規範

- 1 一致協力して、輸送の安全確保に努めます。
- 2 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 3 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 4 職務の実施にあたり、推測によらず、確認の励行に努め、疑義のある場合は最も安全と思われる取扱いをします。
- 5 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全、適切な処置をとります。

(2) 安全目標

平成 22年度は、昨年に引続き下記の安全目標に取り組み、鉄道運転事故及び社員の取扱誤り「ゼロ」を目指して取り組んでまいりました。

区 分	項 目	内 容
数値目標	鉄道運転事故・輸送障害	社員の取扱誤りによる事故「ゼロ」
行動目標	トップによる現場巡視と対話	年 4 回実施
	ヒヤリハットの取り組み	5 年間で定着させる（取組 5 年目）

3. 鉄道運転事故及び輸送障害等の発生状況

列車運行の安全性を高めるため、車両及び設備等の整備・保守点検作業を怠りなく行ってきましたが、踏切障害事故 1 件、その他輸送障害 32 件、計 33 件発生、昨年に比較して 6 件減少しました。

また、事故には至らない社員の取扱誤りは 1 件発生しました。

平成 22 年度に発生した事故・障害のなどの件数

- (1) 鉄道運転事故(列車衝突、列車火災、列車脱線、踏切障害事故等)
  - ・・・・・・・・・・ 1 件
- (2) 輸送障害
  - 自然災害（雨、風、地震等）による障害・・・・・・・・・・ 9 件
  - 設備故障（信号、車両等）による障害・・・・・・・・・・ 9 件
  - 第三者による障害（線路横断、いたずら等）・・・・・・・・・・ 13 件
  - 社員（他会社・業者含む）の取扱誤り・・・・・・・・・・ 1 件
- (3) インシデント（事故に至らない事故の兆候）
  - 発生はありません。
- (4) 行政指導等
  - ありません。

※ 「運転を見合わせた時間の合計」・・・・・・・・・・ 10 時間 24 分

「列車の運休本数」・・・・・・・・・・ 10 本

※ 【年度別運転事故等の発生状況推移】

年 度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
鉄道運転事故	0	0	1
輸送障害	42 (9)	38 (2)	32 (1)
インシデント	0	0	0

( ) は社員の取扱誤りによる障害件数を示します。

#### 4. 安全重点施策の内容と進捗

##### (1) 設備の改修

下記の設備の取替、改修等により安全性向上を計画的に進めてまいりました。

線路設備	レール更換、枕木更換(橋マクラギ含む)、橋梁塗装 道床バラスト補充、線路側溝浚渫、沿線等の雑木伐採 中島踏切道補修、穴水洗浄線補修、保守用機械整備
電気設備	信号機器等の経年取替、踏切関係機器整備 長仙踏切、大津踏切の警報灯を全方向形に交換
車 両	エンジンヘッド修繕、車両制御(TICS)装置改修 車両部品整備(CP 整備)

##### (2) 社員の教育訓練

輸送指令員、運転士、駅係員、車両・工務係員の教育訓練はそれぞれの職種に合わせて実施、訓練の内容は異常時の取扱、事故事例の研究、現車を使用しての訓練等により、技術・知識の習得を中心に行いました。

輸送指令員・駅係員	月1回、(1時間/1回)	異常時の取扱、規程等
運転士	隔月1回、(2時間/1回)	異常時の取扱、規程等 現車訓練
車両・工務係員	年6回、(3時間/1回)	異常時の取扱、機器の取扱、規程、作業方法等

上記のほか、全社員対象に年2回(3時間/1回)の事故防止研修を行いました。

工務勉強会



施設改修



J

## Rとの合同訓練



### (3) JR七尾鉄道部との合同訓練

七尾～和倉温泉間はJRとの共同列車運行区間であるため、合同訓練を、毎年1回実施致します。

平成22年度は7月21日「伝令法施行による救援列車運転」訓練会を実施、お互いが異常時において、間違いのないスムーズで安全な作業ができるよう、異常時取扱い、チェックリスト等の共通化を図りました。

### (4) 降積雪時の安全・安定輸送の確保

降積雪時の輸送確保のため、例年冬期間前に、降雪による線路内への倒木防止のため、鉄道敷地内の雑木の伐採等を行い運行の安全を図ってきました。

また、気象庁の積雪予報を的確に把握し、除雪機械による線路除雪の徹底を図り、駅構内等ホーム及びポイントの除雪には社員総出による除雪を行い、安全・安定輸送の確保に努めました。

一方、冬期踏切事故防止のため、踏切道の除雪を業者に委託し、早朝から除雪を行い、スリップ等による踏切内での発進不能、脱輪等による踏切事故発生を防止してきました。

### 線路内倒木

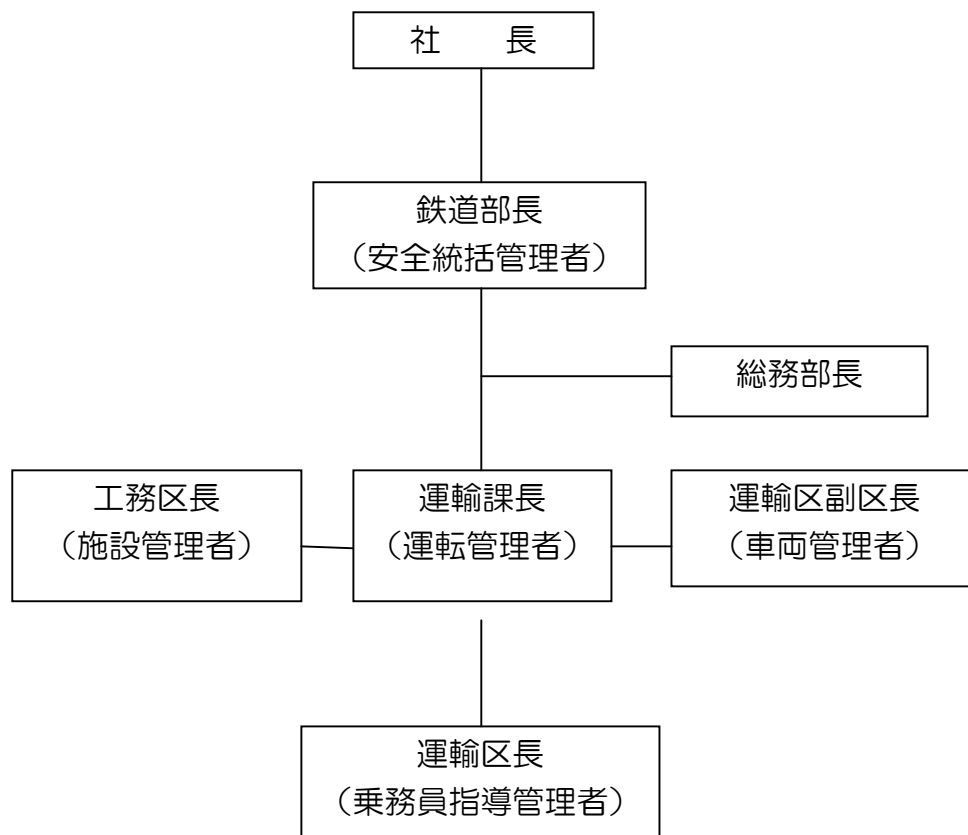


## 5. 安全管理体制と方法

### 5-1 安全管理体制

#### (1) 安全管理組織

社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、乗務員指導管理者、施設管理者及び車両管理者がそれぞれ責務を明確にした上で、安全確保の役割を担っています。



## (2) 安全管理者等の役割

社長が、安全統括管理者等を選任し、輸送の安全の確保に係る各々の役割を定めています。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
常務取締役鉄道部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運輸課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮下、列車の運行、運転士の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
運輸区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
工務区長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮下、施設に関する事項を統括する。
運輸区副区長 (車両管理者)	安全統括管理者の指揮下、車両に関する事項を統括する。

## 5-2 安全管理体制に係る内部監査実施と結果

これまで、安全管理規程策定後の安全管理体制の有効性について、内部監査を実施してきましたが、22年度は内部監査委員の教育を外部に委託し、より充実した内部監査が出来るように致しました。23年度からは、これまでよりも細部にわたった内部監査実施致します。

## 5-3 安全管理方法

### (1) 運転・労働安全会議

会社全体の事故防止会議で、鉄道部長、総務部長、運輸課長、運輸区長、運輸区副区長、工務区長、工務助役等が出席して月1回開催してきました。

内容は、設備の老朽化等の安全検討を行い設備取替、改修を行ってきまし



た。

また、前月一ヶ月間の事故・障害の報告を受け、再発防止策を検討するとともに、ヒヤリハットや要注意事項について意見交換を行い、必要事項は関係社員への指示内容として徹底してきました。

(取替・改修例)

- ・塩津踏切の安全性向上  
カーブのため列車運転士の見通し悪く、国道側の立木等を伐採、更に全方位形の踏切警報灯に取替
- ・中島踏切道の改修  
踏切道路部分を剥ぎ取り、摩耗レールを取替、軌間拡大部を基準値に整正

(2) ヒヤリハット報告

事故や障害に至らない些細な事柄（ヒヤリハット、事故の卵）も隠さず報告する体質づくりを行い、事故の卵を一つ一つ潰し、「事故 0」への定着化を図ってきました。

ヒヤリハット…4件発生（信号取扱に係わる事象3件、手歯止に係わる事象1件）

## 6. 安全対策の実施状況

22年度の安全対策に伴う費用（主に設備保守費）は下記のとおりであります

項目	金額	備考
施設関係	23,227千円	レール更換、枕木更換(橋マクラギ含む)、橋梁塗装 道床バラスト補充、線路側溝浚渫、沿線等の雑木伐採 中島踏切道補修、穴水洗浄線補修、保守用機械整備
電気関係	2,431千円	信号機器等の経年取替、踏切関係機器整備 長仙踏切、大津踏切の警報灯を全方向形に交換
車両関係	48,267千円	エンジンヘッド修繕、車両制御(TICS)装置改修 車両部品整備(CP整備)

## 7. 利用者・沿線住民の皆様にお願ひ

毎年春と秋の全国交通安全運動に合わせて、踏切通行のマナーについて通行量の多い踏切を中心に啓発活動を行っております。

22年度では、残念ながら警報無視による踏切障害事故が1件発生しまし

た。

また、春の山菜取り、秋の苔取り等で線路内へ入る人をたくさん見受けま  
す。鉄道敷地内への侵入による輸送障害も発生しており、非常に危険ですの  
で、線路内歩行をしないようお願い致します。

#### 踏切障害事故及び踏切支障

概 況	列車の遅れ
別所踏切(能登中島～西岸) 警報無視踏切内侵入 軽トラック大破、運転手重傷	運休 6 本 遅延 152 分
塩津踏切(笠師保～能登中島間) 警報無視踏切内侵入	10 分
中島踏切(能登中島～西岸) 警報無視踏切内侵入	7 分
徳田街道踏切(七尾～和倉温泉) 警報無視踏切内侵入	2 分

平成 22 年 9 月 23 日 西岸駅構内別所踏切 軽四トラック



#### お問い合わせ

〒927-0026 石川県鳳珠郡穴水町字大町チ 24 番地 2

のと鉄道株式会社

TEL 0768-52-4422

Fax 0768-52-4455